

JIS

油圧—液体用自動粒子計数器の校正方法

JIS B 9932 : 2003

(ISO 11171 : 1999)

(JFPA/JSA)

平成 15 年 3 月 20 日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本工業標準調査会標準部会 産業機械技術専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	岡村 弘之	東京理科大学
(委員)	朝田 泰英	財団法人電力中央研究所
	大地 昭生	日本内燃機関連合会 (株式会社東芝 電力システム社)
	大湯 孝明	社団法人日本農業機械工業会
	岡崎 治義	社団法人日本建設機械化協会
	重久 吉弘	財団法人エンジニアリング振興協会
	竹原 敏郎	農林水産省
	筒井 康賢	独立行政法人産業技術総合研究所
	西本 徳生	厚生労働省
	橋元 和男	国土交通省
	平野 正明	社団法人日本機械工業連合会
	藤咲 浩二	社団法人日本産業機械工業会
	松山 新一郎	株式会社豊田自動織機
	宮川 嘉朗	社団法人全国木工機械工業会

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：平成 12.8.20 改正：平成 15.3.20

官 報 公 示：平成 15.3.20

原 案 作 成 者：社団法人日本フルードパワー工業会

(〒105-0011 東京都港区芝公園 3 丁目 5-8 TEL 03-3433-5391)

財団法人日本規格協会

(〒107-8440 東京都港区赤坂 4 丁目 1-24 TEL 03-5770-1573)

審 議 部 会：日本工業標準調査会 標準部会 (部会長 杉浦 賢)

審議専門委員会：産業機械技術専門委員会 (委員長 岡村 弘之)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境司 標準課産業基盤標準化推進室
(〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1 丁目 3-1) にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

まえがき

この規格は、工業標準化法第 14 条によって準用する第 12 条第 1 項の規定に基づき、社団法人日本フルードパワー工業会(JFPA)/財団法人日本規格協会(JSA)から、工業標準原案を具して日本工業規格を改正すべきとの申出があり、日本工業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が改正した日本工業規格である。

これによって、**JIS B 9932:2000** は改正され、この規格に置き換えられる。

改正に当たっては、日本工業規格と国際規格との対比、国際規格に一致した日本工業規格の作成及び日本工業規格を基礎にした国際規格原案の提案を容易にするために、**ISO 11171:1999, Hydraulic fluid power — Calibration of automatic particle counters for liquids** を基礎として用いた。

JIS B 9932 には、次に示す附属書がある。

- 附属書 A (規定) 液体用自動粒子計数器の予備点検
- 附属書 B (規定) 同時通過損失の判定
- 附属書 C (規定) 流量限界の判定
- 附属書 D (規定) 分解能の判定
- 附属書 E (規定) 粒子計数精度の確認
- 附属書 F (規定) 二次校正用懸濁液
- 附属書 G (参考) 液体用自動粒子計数器の校正 ラウンドロビン
- 附属書 H (参考) 試料の計算
- 附属書 I (参考) 参考文献